

講義名	基礎技能B（数的処理）			授業形態	
担当教員	富岡 敦基	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

【目的】
基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。1年生対象の基礎技能B（数的処理）では、公務員試験で必要となる「基礎能力」に関し、幅広く「講義」と「演習」を織り込み、どのような公務員試験でも必要となる「数的処理」について学ぶ。授業内では初回と比較して最終回での理解度ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。公務員試験合格には、当授業を履修するだけではなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。なお、本授業を履修するには事前ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が求められる（「履修にあたっての注意・助言他」を参照）。

【内容】
「数的処理」を学び、社会人として必要な基礎的な数的処理能力を身につけてもらう。同時に、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法についても学ぶ。試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。なお、小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。受講態度が悪い場合には、減点する。

【意義】
講師との対話を通じて進められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」を養身に身につけることができることにある。また、公務員という明確な目標に向って、コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアカのひびへこたれず」の精神を養うことができることにも大きな意義がある。

到達目標

- 公務員試験の一般知識分野を学ぶ上で重要となる「基礎的概念」の理解に必修となる「総合力」を養うことができるようになる。
- 公務員試験・教養科目の核となる『数的推理』『判断推理』の基礎を固めることができる。
- 毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。

なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する。そのため、教室における対面授業で実施する。

提出課題

- 毎授業時に練習問題を出す。
- 公務員試験勉強には日々の自習が求められる。宿題を通じて、自分のペースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

練習問題は授業中に講評・解説を行う。
第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をFBシートで返却する。

評価の基準

小テスト（5回×5問＝25問）[50%]と受講態度（宿題の提出[15回]等）[50%]の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本授業を履修するには、ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が必要です。

【ガイダンス】
1年前期（5～6月）に目的、内容を紹介する説明会を実施するので、履修希望者は必ず参加して下さい。
【エントリーシートの事前提出】
公務員対策は4年間にわたる長丁場の取り組みとなり、強い意志が必要となります。そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。エントリーシートの詳細はガイダンスで説明します。なお、本授業は50人を定員としています。

【履修に際して】
4限の数的処理 と5限の文章理解 をセットで履修をしてください。

教科書

.公務員試験 [高卒程度・社会人]初級スーパー過去問ゼミ 数的推理.	資格試験研究会 編	実務教育出版	1540	9784788972667
.公務員試験 [高卒程度・社会人]初級スーパー過去問ゼミ 判断推理.	資格試験研究会 編	実務教育出版	1540	9784788972650

参考図書

.なし.				

その他

必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画

- 公務員ガイダンス・数と式の計算その1
- 数と式の計算その2
- 方程式・不等式
- 割合・速さ
- 仕事算・時計算・年齢算
- 場合の数・確率
- 直線図形・円・扇形
- 集合・論理・暗号
- 対応・順序
- 位置・移動
- 数量関係からの推理
- 平面図形
- 立体図形
- 資料解釈・数表
- 資料解釈・グラフ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：それぞれの回の実施内容（全体把握）を予習すること（2時間程度）。
復習：講義内で実施した範囲の問題演習を繰り返し、3回以上は解くこと（2時間程度）。
公務員採用試験対策においては、問題演習を繰り返し解くことが重要です。自学自習をすることで、授業で学んだ知識を定着させましょう。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。
・公務員採用試験に向けて、教養科目の核となる『数的推理』『判断推理』を解くことができるようになる。
・知識を応用し転換することができる。論理的思考力を持った人材の育成
・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
・「自主・自立の精神を持った人材」の育成

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

理解度確認表・レスポンスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用

備考
